

ミクロ経済学演習 02 (講義 2 に対応)

矢野 誠

問 1. ある品物 X への支払用意が 5000 円である。また、その価格は 3000 円である。

- A. この品物をあなたは買うだろうか。
- B. 買わないとしたら、どのような場合が考えられるか。

問 2. 10000 円の品物を買ったとき、2000 円の消費者余剰を得た。

- A. 支払用意はいくらか。
- B. 同じ品物を買ったが、消費者余剰が減ってしまったとする。その理由として何が考えられるか。

問 3. 限界原理は現状の改善方法を教えてくれる。これについて考えてみるため、試験の前に二時間ではなく、せめてもう一時間勉強していたら、成績が (D ではなく) C だったのにと考える人がいたとしよう。

- A. その人が、でも、後悔はしていないというならば、どんな理由がありうるか。限界原理に基づいて答えよ。
- B. 後悔するという人がいたら、この次の試験でもう一時間勉強しなかったのは合理的な意思決定ではないと言ってよいか。
- C. この人が、次の試験で、もう一時間勉強して、成績が C になったとする。それが合理的だとしたら (最適な勉強量を達成しているとしたら)、どのような場合か。勉強をすることの苦痛とよい成績を取ることの喜びの関係で説明せよ。

問 4. ある人のリンゴ 5 個への支払用意は 700 円である。この人が、スーパーマーケットで 5 個 500 円で売られているリンゴのパックと、6 個 600 円で売られているミカンのパックを検討している。

- A. リンゴのパックを買ったとしたらミカンのパックへの支払用意はどの範囲にあったと考えられるか。
- B. 逆にミカンのパックを買ったとしたら、ミカンのパックへの支払用意はどの範囲にあったと考えられるか。

2

問5. ビール一本へのあなたの支払用意は1000円、二本では1400円であるとしよう。ビールは一本あたり500円で販売されているとする。

A. 何本のビールを買うべきだろうか。

B. この状況で、あなたが三本のビールを買うとしたら、合理的な行動をしていると考えられるだろうか。